

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-298686  
(43)Date of publication of application : 24.10.2000

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 11-104968

(71)Applicant : SAKAMOTO KUNIHIRO

(22)Date of filing : 13.04.1999

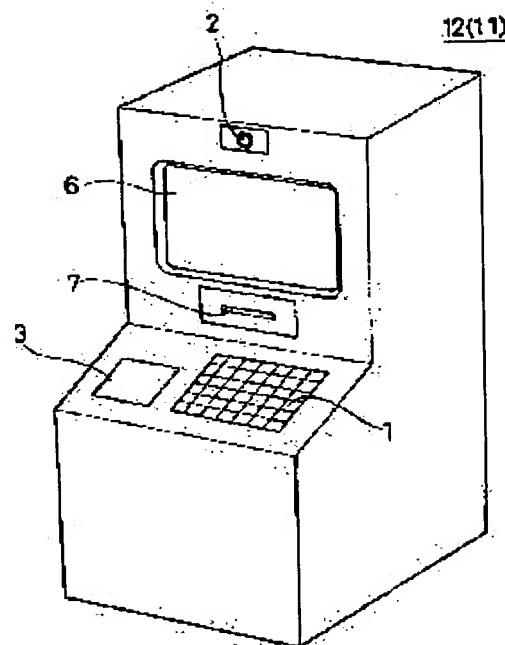
(72)Inventor : SAKAMOTO KUNIHIRO

## (54) DEVICE AND METHOD FOR PROCESSING INSURANCE INFORMATION

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To newly join insurance easily and also lightheartedly or to continue joined insurance by installing an insurance terminal machine at various places.

SOLUTION: The data of an insurance client and selected insurance contents data are inputted from a terminal machine 12, and new join information, continuous update information, continuous change information, reissue information and insurance number data are sent to a central device together with the data. Newly contracted insurance number data (new contract possible information) and insurance fee data are returned to the machine 12 on the basis of these information and data. Then, a new insurance policy is issued, information and insurance fee data in which insurance continuation/change is possible are returned to the machine 12 so that insurance can be continued/changed, reissuable information is returned so that an insurance policy is reissued, and insurance fee is paid such as when an accident takes place.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-298686  
(P2000-298686A)

(43) 公開日 平成12年10月24日 (2000. 10. 24)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

データベース(参考)

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号

特願平11-104968

(22) 出願日

平成11年4月13日 (1999. 4. 13)

(71) 出願人 396001670

坂元 邦浩

愛知県稲沢市長東町北浦56番地 グランレイ  
ム長東1001

(72) 発明者 坂元 邦浩

愛知県稲沢市長東町北浦56番地グランレイ  
ム長東1001

(74) 代理人 100092130

弁理士 若原 誠一

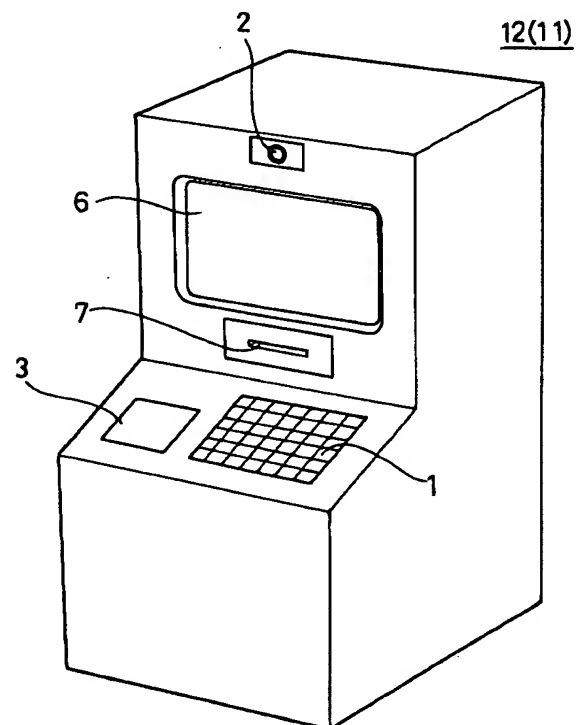
Fターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB11 BB46 CC05  
CC09 DD01 DD04 EE07 EE21  
FF02 FF03 FF08 GG04 GG07

(54) 【発明の名称】 保険情報処理装置及び保険情報処理方法

(57) 【要約】

【課題】 保険の端末機を各所に設置して、簡単かつ気軽に保険に新規加入したり、または加入している保険を継続する。

【解決手段】 端末機 1 2 からは、保険加入者のデータ、選択した保険内容データが入力され、これらのデータとともに、新規加入情報、継続更新情報、継続変更情報、再発行情報、保険番号データが中央装置 1 3 へ送られる；これらの情報及びデータに基づいて、新規契約の保険番号データ（新規契約可能情報）及び保険料データが端末機 1 2 へ返信されて新規保険証 5 が発行されたり、保険の継続／変更が可能である情報及び保険料データが端末機 1 2 へ返信されて保険の継続変更がなされたり、再発行可能の情報が返信されて保険証 5 が再発行されたり、事故発生時などには保険料が支払われたりする。



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】 端末機には、

保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータの入力を受け付けて、当該データを記憶する手段と、この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータを中央装置に送る手段とを備え、

中央装置には、

多数の保険番号を記憶する手段と、

この記憶された保険番号に基づいて、上記端末機から送られてくる保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータに応じた保険番号を作成する手段と、

この作成された保険番号を上記端末機に送る手段と、

上記端末機には、さらに、

この送られてきた保険番号、上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとを記録した保険媒体を出力する手段とを備えたことを特徴とする保険情報処理装置。

## 【請求項2】 端末機では、

保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータの入力を受け付けて、当該データを記憶させ、

この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータを中央装置に送らせ、

中央装置では、

記憶された多数の保険番号に基づいて、上記端末機から送られてくる保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータに応じた保険番号を作成させ、

この作成された保険番号を上記端末機に送らせ、

上記端末機では、さらに、

この送られてきた保険番号、上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとを記録した保険媒体を出力させることを特徴とする保険情報処理方法。

【請求項3】 上記端末機では、保険の新規契約、保険の継続または変更、保険証の再発行、保険料支払いなどの保険のための各種役務が選択されて実行され、

中央装置で発行された保険番号が、中央装置から端末機へ送られて、新規契約可能情報が供給されると、新たな保険証が発行され、保険料納付の処理が行われ、

中央装置へ送られた保険番号または当該保険を特定するための情報に基づいて、保険継続が可能である情報及び計算された保険料データが中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険継続または変更の処理及び保険料納付の処理が実行され、

中央装置へ送られた保険番号または当該保険を特定するための情報に基づいて、保険証再発行が可能である情報が中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険再発行の処理が実行され、

中央装置へ送られた保険料支払い情報、支払い金額または保険番号に基づいて、支払いが可能である情報が中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険料の支払い処理が実行され、

上記中央装置に記憶された保険番号には、保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータが対応づけて記憶され、

上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとは保険加入者によって入力され、

保険加入者自身に関するデータは、保険加入者の住所、氏名、電話番号、性別、血液型、年齢、身分証明番号、顔写真画像などであり、

この身分証明番号は、運転免許証番号、健康保険者番号、預金口座番号、貯金口座番号、クレジットカード番号、パスポート番号、電話番号などであり、

保険加入者自身に関するデータは身分証明書から読み取られて入力され、

この保険内容を示すデータは、保険名、保険の種類、保険の金額または保証内容、保険対象を示すデータなどであり、この保険対象を示すデータは、保険対象物を撮影した画像データ、保険対象物を識別する情報などであり、保険対象を示す情報の記憶媒体から読み取られて入力され、

上記保険番号は、数字、文字、記号、バーコード、光学的、磁氣的または電磁的に読み取り可能な記憶データなどからなっていて、保険加入者を整理するための整理情報であり、

上記保険媒体は、紙、樹脂、磁性体、光磁性体、ホログラム体、写真、半導体素子などのカード、アームバンド、アームリング、ステッカー、シール、パッチなどであり、

上記データの送受の手段は電話、携帯電話、インターネット、パソコン通信またはファックスなどであり、当該データの送受の通信媒体は電波、電磁波、光、音波、導電ケーブルなどであり、当該データの送受の形式は有線または無線などである請求項1記載の保険情報処理装置または請求項2記載の保険情報処理方法。

## 【請求項4】 端末機には、

保険番号の入力を受け付けて、当該保険番号を記憶する手段と、

この保険番号を中央装置に送る手段とを備え、

中央装置には、

多数の保険加入者の保険番号を記憶する手段と、

この記憶された保険番号に、上記端末機から送られてくる保険番号が記憶されているか否かを判別する手段と、この判別結果を上記端末機に送る手段と、

上記端末機には、さらに、

この送られてきた判別結果に基づいて、当該端末機に装着された保険媒体に対して、保険の継続の情報を出力する手段とを備えたことを特徴とする保険情報処理装置。

## 【請求項5】 端末機では、

保険番号の入力を受け付けて、当該保険番号を記憶させ、

この保険番号を中央装置に送らせ、

中央装置では、

記憶された多数の保険加入者の保険番号に、上記端末機から送られてくる保険番号が記憶されているか否かを判別させ、

この判別結果を上記端末機に送らせ、

上記端末機では、さらに、

この送られてきた判別結果に基づいて、当該端末機に装着された保険媒体に対して、保険の継続の情報を出力させることを特徴とする保険情報処理方法。

【請求項6】 上記端末機では、保険の新規契約、保険の継続または変更、保険証の再発行、保険料支払いなどの保険のための各種役務が選択されて実行され、

中央装置で発行された保険番号が、中央装置から端末機へ送られて、新規契約可能情報が供給されると、新たな保険証が発行され、保険料納付の処理が行われ、

中央装置へ送られた保険番号または当該保険を特定するための情報に基づいて、保険継続が可能である情報及び計算された保険料データが中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険継続または変更の処理及び保険料納付の処理が実行され、

中央装置へ送られた保険番号または当該保険を特定するための情報に基づいて、保険証再発行が可能である情報が中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険再発行の処理が実行され、

中央装置へ送られた保険料支払い情報、支払い金額または保険番号に基づいて、支払いが可能である情報が中央装置から端末機へ送られると、端末機にて保険料の支払い処理が実行され、

上記中央装置に記憶された保険番号には対応する保険加入者の保険料の不支払いなどの不都合情報が対応して記憶され、当該不都合情報を有する保険番号に対しては、上記保険の継続の情報を出力しないようにし、

上記保険の継続の情報は、数字、文字、記号、バーコードなどの印刷データ、光学的、磁氣的または電磁的に読み取り可能な記憶データなどであり、

上記中央装置に記憶された保険番号には、保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータが対応づけて記憶され、

この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとは保険加入者によって入力され、

保険加入者自身に関するデータは、保険加入者の住所、氏名、電話番号、性別、血液型、年齢、身分証明番号、顔写真画像などであり、

この身分証明番号は、運転免許証番号、健康保険者番号、預金口座番号、貯金口座番号、クレジットカード番号、パスポート番号、電話番号などであり、

保険加入者自身に関するデータは身分証明書から読み取られて入力され、

この保険内容を示すデータは、保険名、保険の種類、保険の金額または保証内容、保険対象を示すデータなどで

あり、この保険対象を示すデータは、保険対象物を撮影した画像データ、保険対象物を識別する情報などであり、保険対象を示す情報の記憶媒体から読み取られて入力され、

上記保険番号は、数字、文字、記号、バーコードなどの印刷データ、光学的、磁氣的または電磁的に読み取り可能な記憶データなどからなっていて、保険加入者を整理するための整理情報であり、

上記保険媒体は、紙、樹脂、磁性体、光磁性体、ホログラム体、写真、半導体素子などのカード、アームバンド、アームリング、ステッカー、シール、パッチなどであり、

上記データの送受の手段は電話、携帯電話、インターネット、パソコン通信またはファックスなどであり、当該データの送受の通信媒体は電波、電磁波、光、音波、導電ケーブルなどであり、当該データの送受の形式は有線または無線などである請求項3記載の保険情報処理装置または請求項4記載の保険情報処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、保険情報処理装置及び保険情報処理方法に関し、特に端末機を通じて保険の加入または保険の継続をすることのできる装置及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来このような保険加入または保険継続は、保険代理店または保険外交員を通じて加入または継続をしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような保険の加入または継続の手続はめんどろであり、気軽に保険の加入や継続をすることができなかった。本発明の目的は、保険の端末機を各所に設置することにより、簡単に保険に加入したり継続したりできる、保険情報処理装置及び保険情報処理方法を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、 端末機では、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータの入力を受け付けて、当該データを記憶し、この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータを中央装置に送り、中央装置では、記憶された多数の保険番号に基づいて、上記端末機から送られてくる保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータに応じた保険番号を作成し、この作成された保険番号を上記端末機に送り、 上記端末機では、さらに、この送られてきた保険番号、上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとを記録した保険媒体を出力する。これにより、保険の端末機を各所に設置すれば、簡単かつ気軽に保険に加入で

きる。

【0005】また、上記目的を達成するため、本発明は、端末機では、保険番号の入力を受け付けて、当該保険番号を記憶し、この保険番号を中央装置に送り、中央装置では、記憶された多数の保険加入者の保険番号に、上記端末機から送られてくる保険番号が記憶されているか否かを判別し、この判別結果を上記端末機に送り、上記端末機では、さらに、この送られてきた判別結果に基づいて、当該端末機に装着された保険媒体に対して、保険の継続の情報を出力する。これにより、保険の端末機を各所に設置すれば、簡単かつ気軽に加入している保険を継続できる。

【0006】

【発明の実施の形態】 1. 保険情報処理装置 11 の端末機 12

図 1 は保険情報処理装置 11 の端末機 12 の全体外観を示す。キーボード 1 からは、保険加入者によって保険加入者自身に関するデータ、保険内容を示すデータまたは保険番号若しくは保険番号データまたは保険対象物の製造番号（車両ナンバ）（保険対象物を識別する情報）などが保険加入者によって入力される。また、このキーボード 1 からは、保険証 5 の発行、継続更新、契約内容変更、紛失再発行の手続のための各種コマンドも保険加入者によって入力される。

【0007】デジタルカメラ 2 によって、保険加入者の顔の写真画像または保険対象物を撮影した写真画像（保険対象物の画像データ）が撮影され、記憶されたり、保険証 5 に記録されたりする。このキーボード 1 は表示画面 6 の表面に形成されたタッチパネルで代用可能である。上記保険加入者にはこれから保険に入る者及び既に保険に入っている者を含み、保険新規契約者、契約保険継続更新者、契約保険変更者などを含む。

【0008】保険対象を示すデータは、上記保険対象物の画像データ、上記保険対象物を識別する情報などである。この保険対象物とは、当該保険の対象となるものであり、建物、車両、携帯電話機、カメラ、スキーボード、スキー、ゴルフ、スキューバーバイキング用品などのレジャー用品、トランクなどの旅行用品などの有体物（商品）、旅行ツアー、搭乗する乗り物、宿泊する施設などの無体物（サービス）などであり、保険対象物自身の撮影映像、製造番号（車両ナンバ）、識別情報（識別コード）などが記録される。製品名、製造番号（車両ナンバ）、識別情報（識別コード）によって、保険対象物が十分特定される場合であって、当該保険対象物の撮影が不要のときは、上記デジタルカメラ 2 は省略される。

【0009】保険加入者自身に関するデータは、保険加入者の国籍、住所、氏名、電話番号、性別、血液型、年齢（生年月日）、職業、既婚／未婚、身分証明番号、上記顔写真画像などである。この身分証明番号は、運転免許証番号、健康保険者番号、預金口座番号、貯金口座番

号、クレジットカード番号、パスポート番号、電話番号などである。

【0010】保険内容を示すデータは、保険名、保険の種類、保険の金額または保証内容、上記保険対象を示すデータなどである。保険名または保険の種類は、火災保険、地震保険、自動車保険、旅行保険、ゴルフ保険、生命保険、損保保険、傷害疾病保険、物品破損保険、盗難保険、紛失保険などである。これらの保険は、盗難・破損などの保険対象が物品・サービスのものと、死亡・事故・疾病などの保険対象が人物のものがある。

【0011】保険の金額または保証内容は、補償額の総額、各段階の損害に対する各保証額（補償額）、保証金額、交換品（交換サービス）、保険契約日、保険契約満了日、支払方法などである。保険対象を示すデータは上述した。この支払い方法は、契約期間についての一括払い、月々の分割払い、口座引落、口座振替、口座振込、現金振込などである。これらの口座番号は表示画面 6 に表示された案内メッセージに従って保険加入者によって入力される。

【0012】これら保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータは、表示画面 6 に順次切り換え表示される、選択枝アイコンを順次選択すること、または直接上記キーボード 1 を操作することによって入力される。

【0013】情報読み取り装置 3 は、保険証 5 に記録された保険番号 8 または保険番号データが読み取られる。この保険番号 8 は、数字、文字、記号、バーコードなどの印刷データなどであり、この保険番号データは光学的、磁氣的または電磁的に読み取り可能な記憶データなどからなっていて、保険加入者を整理するための整理情報である。この情報読み取り装置 3 では、上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータも読み取られる。

【0014】情報読み取り装置 3 は、バーコードリーダー、OCR（光学文字読み取り装置）、磁気カード読み取り装置、ICカード読み取り装置、スキャナなどである。ICカード読み取りでは、ICカードから発信されている微弱電波を受信して読み取りが行われ、非接触による読み取りが可能となっている。この情報読み取り装置 3 は、入力データの形式によって可能であれば、上記デジタルカメラ 2、キーボード 1、タッチパネル、デジタルビデオカメラなどによって代用されることもできる。

【0015】また、この情報読み取り装置 3 からは、車両の車検証（A4 または B5 サイズなど）、その他の保険対象を示すデータまたは保険加入者自身に関するデータを記憶した媒体も設置され、保険対象を示すデータまたは保険加入者自身に関するデータも読み取られる。同様にして運転免許証の読み取りも後述するように行われる。

【0016】表示画面6には、保険証5そのものを示す画像、上記保険の各種データ（情報）の入力を案内する案内情報、案内メッセージ、案内アイコン、選択情報、選択メッセージ、選択肢アイコン、入力コマンド、入力データ、入力メッセージ、タッチパネル画像、ビデオカメラ2で撮影された画像、上記入力された保険加入者自身に関するデータ、保険内容を示すデータ及び保険番号データ、保険継続データなどが表示される。

【0017】この端末機12は、24時間使用可能であり、例えばコンビニエンスストア（24時間営業店）、ショッピングセンター、スーパーマーケット、デパート、ホテル、レストラン、ゲームセンターなどの娯楽施設、銀行または郵便局のキャッシュコーナー、保険代理店などの金融保険施設、学校などの教育施設、駅、空港、港、ガソリンスタンドなどの交通施設、旅行代理店、スキー場、ゴルフ場などのレジャー施設などに設置される。

【0018】挿入口7からは発行された保険証5及び保険契約書が排出される。またこの挿入口7には継続更新のための保険証5が挿入され、継続更新手続が完了すると、更新、継続又は変更された保険証5が排出される。また、この挿入口7からは、紛失した保険証5について再発行された保険証5も排出される。。

【0019】さらに、この挿入口7からは、キャッシュカード、クレジットカードまたは電子マネーカードも挿入され、保険料の支払いも行われる。またさらに、この挿入口7からは、このキャッシュカード、クレジットカードまたは電子マネーカードも挿入され、現金の自動支払いまたは現金の自動貸し出しも可能である。端末機12にはそのような現金供給口も設けられる（図示せず）。

【0020】さらにまた、この挿入口7からは、車両の車検証（カードタイプ）、その他の保険対象を示すデータまたは保険加入者自身に関するデータを記憶した媒体も挿入され、保険対象を示すデータまたは保険加入者自身に関するデータも読み取られる。この挿入口7は上記情報読み取り装置3を兼用することもでき、上述の磁気カード読み取り、ICカード読み取りが可能となっている

【0021】上記保険番号データの入力では、保険の満期満了または継続更新の案内葉書または案内手紙が、上記情報読み取り装置3に直接装着されて読み取られる。この場合、この案内葉書または案内手紙に、上記数字、文字、記号、バーコードなどの保険番号データが印刷されたり、または光学的、磁氣的または電磁的に読み取り可能な保険番号データが記録されたりする。この端末機12は現金自動支払機の機能も有していて、後述するように現金供給口（図示せず）も設けられている。

【0022】2. 保険証5

上記保険証5は、保険媒体であって、紙、樹脂、磁性

体、光磁性体、ホログラム体、写真、半導体素子を備えた媒体などからなり、カード、アームリング、アームバンド、ステッカー、シール、パッチなどの形態を取る。このカードはクレジットカード、キャッシュカード、プライベートカードなどであり、これらのカードと同じ大きさ・規格であって、これらのカードと兼用可能である。

【0023】文字エリア15には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータのうち、文字によって表示可能なものが印刷される。この文字エリア15には、上記保険加入者の国籍、住所、氏名、電話番号、性別、血液型、年齢（生年月日）、職業、既婚／未婚、身分証明番号、保険の金額または保証内容は、補償額の総額、各段階の損害に対する各保証額（補償額）、保証金額、交換品（交換サービス）、保険契約日、保険契約満了日時、保険対象物の製造番号（車両ナンバ）、識別情報（識別コード）などが印刷される。

【0024】この文字エリア15には、さらに保険継続更新情報、保険変更情報または保険再発行情報も印刷される。保険継続情報は、継続更新がなされたことを示す情報、保険延長満了日時などである。保険変更情報は、契約保険の内容の変更情報などであり、例えば保障（補償）金額の変更、保険契約期間の短縮などである。保険再発行情報は、例えば保険証が紛失されて再発行であることを示す情報などである。

【0025】画像エリア16には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータのうち、画像によって表示可能なものが印刷される。この画像エリア16には、上記保険対象物を撮影した写真画像データまたは保険加入者の顔の写真画像データなどが印刷される。

【0026】識別エリア17には、上述の保険番号8及び保険名（保険種類）9が印刷される。この識別エリアには「更新」または「継続」、「再発行」などの文字等も印刷される。書込／読出エリア18を通じて、上述の記憶された保険番号データ及び保険名（保険種類）データのほか、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータ、保険継続更新情報、保険変更情報または保険再発行情報などが読み出されたり、書き込まれたりする。このデータは、情報読み取り装置3または挿入口7で読み取られたり書き込まれたりする。

【0027】この書込／読出エリア18では、磁気ライン、ICカード読み取り／書き込み部、ホログラムメモリ読み取り／書き込み部、バーコード、光学的読み取り可能な文字などからなり、上述した情報読み取り装置3（挿入口7）によって読み取られる。

【0028】3. 保険情報処理装置11の端末機12の全体回路

図3は保険情報処理装置11の端末機12の全体回路を示す。上記キーボード1から入力されたデータは入力バッファに一時記憶され、さらにプログラム／データ記憶



部21などに記憶され、コントローラ(CPU)20で各種処理される。上記デジタルカメラ2で撮影された画像データはビデオメモリに一時記憶され、さらにプログラム/データ記憶部21などに記憶され、コントローラ(CPU)20で各種処理される。

【0029】上記情報読み取り装置3(挿入口7)から読み取られたデータは、読み取りバッファに一時記憶され、さらにプログラム/データ記憶部21などに記憶され、コントローラ(CPU)20で各種処理される。これらキーボード1、入力バッファ、デジタルカメラ2、ビデオメモリ、情報読み取り装置3(挿入口7)及び読み取りバッファは、図3の入力部25を構成する。

【0030】このプログラム/データ記憶部21(内部記憶媒体/手段)はハードディスク、ROM、書き込み可能なRAM、フラッシュメモリまたはEPROMなどの記憶装置からなる。このプログラム/データ記憶部21には、光ディスク、光磁気ディスクまたは磁気ディスク等の情報記憶部25(外部記憶媒体/手段)に記憶されるコンピュータのプログラムが書き写され記憶される(インストール/転送される)。またプログラム/データ記憶部21には外部/内部のコンピュータから送信されるプログラムも記憶される(インストール/転送される)。このプログラムの記憶媒体は通信媒体も含む。

【0031】このインストール(転送/複写)は、情報記憶部25が本装置(端末機12)にセットされたとき、または本装置の電源が投入されたとき自動的に実行され、または操作者による操作によってインストールされる。上記プログラムは、コントローラ20が各種処理を行うための後述するフローチャートに応じたプログラムである。

【0032】なお、本装置(端末機12)に予め別のオペレーティングシステム、システムプログラム(OS)、その他のプログラムが記憶され、上記プログラムはこれらのOS、その他のプログラムとともに実行されてもよい。このプログラムは本装置(コンピュータ本体)にインストールされ実行されたときに、別のプログラムとともにまたは単独で請求項(クレーム)に記載された処理・機能を実行させることができればよい。

【0033】また、このプログラムの一部または全部が本装置(端末機12)以外の1つ以上の別装置(中央装置13)に記憶されて実行され、本装置と別装置との間には通信手段を介して、これから処理するデータ/既に処理されたデータ/プログラムが送受され、本装置及び別装置全体として、本発明が実行されてもよい。

【0034】上記保険の各種データ(情報)は上記コントローラ20で処理され、このコントローラ20によって、プログラム/データ記憶部21に書き込まれたり読み出されたり、通信インターフェース部23を通じて中央装置13に送られたり受け取られたりされ、また後述するフローチャートに応じたプログラムもこのコントロ

ーラ20で実行される。コントローラ20はCPU、ROM及びRAMなどからなる。

【0035】タイミング発生部24からは、上記装置の全回路の同期を取るためのタイミングコントロール信号が各回路に出力される。このタイミングコントロール信号は、各周期のクロック信号のほか、これらのクロック信号を論理積または論理和した信号、時分割処理のチャンネル分割時間の周期を持つ信号、チャンネルナンバデータなどを含む。このタイミング発生部24では現在の年月日及び日時分秒のカウントも行われ、上記保険の加入年月日時または継続年月日時も上記保険の各種データとして取り込まれ記録される。

【0036】上記通信インターフェース部23を通じて中央装置13との間でデータまたは情報の通信送受が行われる。このデータまたは情報の送受の手段は電話、携帯電話、インターネット、パソコン通信またはファックスなどであり、当該データの送受の通信媒体は電波、電磁波、光、音波、導電ケーブルなどであり、当該データの送受の形式は有線または無線などである。

【0037】上記保険の各種データ(情報)、コマンド、または上記保険証5の全部または一部は、出力部26に出力される。この出力部26は、上記表示画面(ディスプレイ)6、挿入口7、プリンタ、情報書き込み装置、フロッピーディスクドライブまたは音声合成部などからなる。この表示画面6は、液晶表示装置またはCRTなどからなる。

【0038】上記挿入口7の奥にはプリンタが設けられ、上記保険証5の印刷が行われる。この印刷では、文字エリア15、画像エリア16及び識別エリア17の印刷が行われる。この挿入口7の奥には、情報書き込み装置も設けられ、上記保険に関する各種データ(情報)が上記保険証5に上記書込/読出エリア18を通じて書き込まれる。

【0039】上記保険の各種データ(情報)は、またはコントローラ20の処理データ(情報)の全部または一部は、上記通信インターフェース部23から電話回線を通じて外部/内部のコンピュータまたは通信機器、上記中央装置13などに出力される。

【0040】上記デジタルカメラ2はデジタルビデオカメラで代用可能である。この場合、端末機12にはセンサが設けられて、人間の接近が検出され、防犯のために自動的に撮影が開始されてもよい。したがって、保険加入者以外に人物についても撮影が自動的に行われる。これらの撮影データは上記入力部25のビデオメモリに記憶されたり、上記プログラム/データ記憶部22に記憶されたりする。

【0041】上記運転免許証も上記情報読み取り装置3(挿入口7)で読み取りが行われる。この読み取りでは、運転免許証の顔写真が画像データとして取り込まれ、上記保険加入者の顔の写真画像として使用され、上

記保険証5にコピー印刷されたり、中央装置13に送られたりする。

【0042】この運転免許証に記載されている氏名、国籍、本籍、住所、生年月日、免許証番号も、上記情報読み取り装置3（挿入口7）で読み取りが行われる。この読み取られた各データは、文字認識処理が実行され、画像データから文字コードデータに変換される。この変換されたデータは、上記保険加入者自身に関するデータの一部または全部として使用され、上記保険証5に印刷されたり、中央装置13に送られたりする。

【0043】4. 保険情報処理装置11の中央装置13の全体回路

図4は保険情報処理装置11の中央装置13の全体回路を示す。通信インターフェース部33を通じて上記端末機12との間でデータまたは情報の通信送受が行われる。このデータまたは情報の送受の手段は電話、携帯電話、インターネット、パソコン通信またはファックスなどであり、当該データの送受の通信媒体は電波、電磁波、光、音波、導電ケーブルなどであり、当該データの送受の形式は有線または無線などである。

【0044】この送られてきた保険の各種データ（情報）は、コントローラ30で処理され、出力部36に出力されたり、当該通信インターフェース部33を通じて端末機12に送られる。

【0045】プログラム／データ記憶部31（内部記憶媒体／手段）はハードディスク、ROM、書き込み可能なRAM、フラッシュメモリまたはEPROMなどの記憶装置からなる。このプログラム／データ記憶部31には、光ディスク、光磁気ディスクまたは磁気ディスク等の情報記憶部25（外部記憶媒体／手段）に記憶されるコンピュータのプログラムが書き写され記憶される（インストール／転送される）。またプログラム／データ記憶部31には外部／内部のコンピュータから送信されるプログラムも記憶される（インストール／転送される）。このプログラムの記憶媒体は通信媒体も含む。

【0046】このインストール（転送／複写）は、情報記憶部35が本装置（中央装置13）にセットされたとき、または本装置の電源が投入されたとき自動的に実行され、または操作者による操作によってインストールされる。上記プログラムは、コントローラ30が各種処理を行うための後述するフローチャートに応じたプログラムである。

【0047】なお、本装置（中央装置13）に予め別のオペレーティングシステム、システムプログラム（OS）、その他のプログラムが記憶され、上記プログラムはこれらのOS、その他のプログラムとともに実行されてもよい。このプログラムは本装置（コンピュータ本体）にインストールされ実行されたときに、別のプログラムとともにまたは単独で請求項（クレーム）に記載された処理・機能を実行させることができればよい。

【0048】また、このプログラムの一部または全部が本装置（中央装置13）以外の1つ以上の別装置（端末機12）に記憶されて実行され、本装置と別装置との間には通信手段を介して、これから処理するデータ／既に処理されたデータ／プログラムが送受され、本装置及び別装置全体として、本発明が実行されてもよい。

【0049】上記通信インターフェース部33を通じて端末機12から送られてきた、保険の各種データ（情報）は上記コントローラ30で処理され、このコントローラ30によって、プログラム／データ記憶部21に書き込まれたり読み出されたり、上記通信インターフェース部33を通じて端末機12に送られたり受け取られたりされ、また後述するフローチャートに応じたプログラムもこのコントローラ30で実行される。コントローラ30はCPU、ROM及びRAMなどからなる。

【0050】この中央装置13のタイミング発生部34、入力部35、出力部36は、上記端末機12のタイミング発生部24、入力部25、出力部26と同じものである。

【0051】5. プログラム／データ記憶部31

図5は、上記中央装置13のプログラム／データ記憶部31の記憶内容の一部を示す。多数の保険番号データは、加入契約保険を整理するためのデータであり、上述の保険加入者自身に関するデータ、保険内容を示すデータ、保険対象を示すデータ、保険継続更新情報、保険変更情報及び保険再発行情報が対応づけられて記憶されている。

【0052】これらの保険番号データは、上記保険名（保険の種類）、上記保険内容、上記保険対象などごとにグループに分けられて、各保険グループ毎に整理管理される。保険の新規加入契約の場合には、上記入力されて送られてくる保険加入者自身に関するデータ、保険内容を示すデータ、保険対象を示すデータに基づいて、帰属する保険グループが判別され、すでに使用される保険番号と重複しないように新たな保険者番号データが作成され、上記端末機12に送られる。

【0053】また、上記端末機12から送られてきた保険契約の継続更新、変更継続、再発行の保険番号データと同じ保険番号データが、このプログラム／データ記憶部31から検索される。検索されなければエラー情報が端末機に送られてエラーメッセージが表示される。検索されれば、この検索結果、該当する保険番号データがある旨の情報または保険を継続してもよい旨の情報が上記端末機12に送られる。

【0054】なお、保険料の不払い、未納または滞納、保険契約違反、虚偽申告などがある場合には、このプログラム／データ記憶部31には、該当する保険番号データに対応して不都合データも記憶されている。この不都合データも上記端末機12へ送られて、表示画面6に対応するメッセージが表示される。



【0055】6. 端末機12の保険情報処理の新規契約処理

図6は端末機12のコントローラ20によって実行される保険情報処理の中の新規契約処理のフローチャートを示す。電源投入または保険サービスの選択などによってこの処理は開始される。まず図7の初期画面が表示画面6に表示される(ステップ01)。この初期画面には、保険の「新規契約」「継続契約(契約内容変更)」「保険証再発行」「戻る」「取消」の選択アイコンが表示される。この選択アイコンに対応するタッチパネルに指で触れると、各モードが選択される。

【0056】上記「新規契約」が選択されれば(ステップ02)、自動車保険、火災保険、自身保険、物損保険、損害保険、傷害保険、旅行保険、生命保険などの保険名及び保険の種類のリストのアイコンが表示される(ステップ03)。

【0057】これに対して、保険加入者が所望の保険を選択すると(ステップ04)、図8に示す保険内容入力画面が表示される(ステップ05)。この画面では、「保険金額」「保険期間」「保険対象」……「読取」「戻る」「取消」などの選択アイコンが表示される。ここで保険加入者は各アイコンを選択して、上記保険加入者自身に関するデータ、保険内容示すデータ及び保険対象データを順次入力していく(ステップ06)。または、情報読み取り装置3(挿入口7)に保険証5などを設置して、上記「読取」のアイコンを操作して、保険加入者自身に関するデータを入力する。

【0058】図9は、上記入力される保険内容を示すデータの中の保険金額についての入力画面の例を示す。この例は自動車保険である。この画面では、「対人」「対物」「自損」…などの選択アイコンと、これら「対人」「対物」「自損」…などの金額入力欄と、「0」「1」「2」……「9」の数値アイコン、「億」「千万」「百万」の位アイコン、「円」の区切りアイコン、「取消」「戻る」「訂正」などの選択アイコンが表示される。

【0059】これに対して、保険加入者は各欄及び各アイコンを操作して、「対人」「対物」「自損」…の保険内容それぞれについて保険(保障)金額を入力していく(ステップ06)。保険対象物の入力の表示画面には、「0」「1」「2」……「9」の数値アイコン及び「A」「B」「C」……「Z」の文字アイコン、「撮影」のアイコンが表示される。

【0060】この数値アイコン及び文字アイコンの操作によって、上記保険対象物の製造番号(車両ナンバ)などが入力される。「撮影」のアイコンの操作によってデジタルカメラ2が作動され、上記保険対象物を撮影した写真画像が取り込まれる。これと同様にして、保険加入者の顔の写真画像も取り込まれる。

【0061】なお自動車保険の場合、情報読み取り装置3には車検証が設置され、自動車保険における保険対象

を示すデータが文字認識されて入力される。同様の読み取り認識は、他の車両、物品、役務などの、保険対象についても可能である。また、生命保険の場合には、情報読み取り装置3には運転免許証またはその他の身分証明書が設置され、生命保険における保険対象を示すデータつまり保険加入者自身に関するデータが文字認識されて入力される。このような車検データ、身分証明データ、その他の保険対象を示すデータまたは保険加入者自身に関するデータがカードに記録されていれば、挿入口7でも読み取り可能である。

【0062】このようにして保険内容に関するデータ及び保険加入者自身に関するデータが全て入力されると(ステップ07)、これらの保険内容に関するデータ、保険加入者自身に関するデータ及び新規規約であることを示す新規契約情報は、上記通信インターフェース部23を通じて中央装置13に送られる(ステップ08)。

【0063】中央装置13から新規保険料データ及び新たな保険番号データが新規契約可能情報として送られてくると(ステップ09)、新規保険料の金額が表示画面6に表示され、「新規保険料はこの通りです」のメッセージが表示される(ステップ10)。これに対して保険加入者は、キャッシュカード、クレジットカードまたは電子マネーカードを挿入口7に挿入して、暗唱番号及び金額を入力する。この入金金額に誤りがなく、暗唱番号などに誤りがなく、電子マネーカードの残高不足がなければ、新規保険料の支払いが完了する(ステップ11)。

【0064】この場合、銀行の中央装置にアクセスされ、上記カードの口座の残高が不足していないことがチェックされる。なお、この新規保険料の支払いは、現金によって支払うこともできる。この場合、端末機12には、現金供給口(現金収納口)及び現金計数装置も設けられる。保険料の支払いが完了すると、保険証5の上記書込/読出エリア18を通じて保険番号データが書き込まれて記憶される(ステップ12)。この場合、新規保険料が支払われたことも書き込まれ記憶される。

【0065】さらに、保険証5の識別エリア17に保険番号8及び保険名(保険種類)9が印刷され、保険証5の画像エリア16には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータのうち、画像によって表示可能なものが印刷され、保険証5の文字エリア15には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータのうち、文字によって表示可能なものが印刷される(ステップ13)。この場合、新規保険料が支払われたことも印刷される。

【0066】このようにして作成された保険証5は挿入口7から排出供給される(ステップ14)。なお、この端末機12には、何も印刷されず何も書込記憶されていない多数の発行用の保険証5がストックされていて、この発行用の保険証5に対して上記各種保険データが印刷

または書込記録される。

【0067】7. 端末機12の保険情報処理の継続／変更処理

図10は端末機12のコントローラ20によって実行される保険情報処理の中の契約保険の継続更新処理または契約保険内容の変更処理のフローチャートを示す。上記ステップ01の初期画面表示後、「継続契約（契約内容変更）」が選択されると（ステップ22）、「保険番号を入力してください」のメッセージと「0」「1」「2」……「9」の数値アイコン及び「A」「B」「C」……「Z」の文字アイコンが表示される（ステップ23）。

【0068】これに対して、保険加入者は、数値アイコン及び文字アイコンを使って、保険番号データを入力する（ステップ24）。または、情報読み取り装置3（挿入口7）に保険証5または保険契約継続更新の案内葉書などを設置または挿入して、上記「読み取り」のアイコンを操作して、保険加入者自身に関するデータを入力する（ステップ24）。保険番号データが入力されると、この保険番号データ及び保険継続更新情報または保険変更情報は上記通信インターフェース部23を通じて中央装置13へ送られる（ステップ26）。

【0069】中央装置13から該当する保険番号データがある旨の情報つまり保険継続可能情報が送られてくると（ステップ27）、図11に示す保険継続／変更画面が表示される（ステップ28）。この画面では、「保険金額」「保険期間」「保険対象」……「読取」……「次へ」「戻る」「取消」などの選択アイコンが表示される。

【0070】ここで保険加入者は各アイコンを選択して、上記保険加入者自身に関するデータ、保険内容示すデータ及び保険対象データなどにつき、変更したい項目のアイコンを選び、変更データを順次入力していく（ステップ29）。このステップ29の変更データの輸入は、上記ステップ06、07と同様の処理によって行われ、図9に示すような入力画面が表示される。

【0071】このようにして契約保険の継続更新処理または契約保険内容の変更、つまり保険継続更新情報または保険変更情報が全て入力され、「次へ」のアイコンが操作されると（ステップ30）、これらの保険継続更新情報または保険変更情報は、上記通信インターフェース部23を通じて中央装置13に送られる（ステップ31）。

【0072】中央装置13から継続保険料データが送られてくると（ステップ32）、継続保険料の金額が表示画面6に表示され、「継続保険料はこの通りです」のメッセージが表示される（ステップ33）。これに対して保険加入者は、キャッシュカード、クレジットカードまたは電子マネーカードを挿入口7に挿入して、暗唱番号及び金額を入力する。

【0073】この入金金額に誤りがなく、暗唱番号などに誤りがなく、電子マネーカードの残高不足がなければ、継続保険料の支払いが完了する（ステップ34）。この場合、銀行の中央装置にアクセスされ、上記カードの口座の残高が不足していないことがチェックされる。なお、この新規保険料の支払いは、現金によって支払うこともできる。この場合、端末機12には、現金供給口（現金収納口）及び現金計数装置も設けられる。

【0074】そして、挿入口7から保険証5が挿入されていれば（ステップ35）、この保険証5の文字エリア15には、保険継続更新情報、保険変更情報も印刷される。この保険証5の識別エリア17には、「更新」または「継続」などの文字等も印刷される。この保険証5の書込／読出エリア18を通じて、上述の記憶された保険継続更新情報または保険変更情報などが書き込まれる（ステップ36）。そして、継続保険料が支払われたことも保険証5に書き込まれ記憶されまた印刷される。なお、このステップ33では、保険証5の書き換えを行わず、変更された新たな保険証5が発行されてもよい。この発行処理は、上記ステップ10～12と同じ処理である。

【0075】上記ステップ27で、中央装置13から上記不都合情報が送られてくると（ステップ37）、「誠に申し訳ございませんが、継続更新（変更継続）できません」のメッセージが表示画面6に表示される（ステップ38）。上記ステップ27で、保険番号データがない旨の情報が送られてくると（ステップ27、37）、「誠に申し訳ございませんが、継続更新（変更継続）できません」のメッセージが表示画面6に表示される（ステップ39）。

【0076】8. 端末機12の保険情報処理の再発行処理

図12は端末機12のコントローラ20によって実行される保険証5の再発行処理のフローチャートを示す。上記ステップ01の初期画面表示後、「保険証再発行」が選択されると（ステップ42）、「保険番号を入力してください」のメッセージと「0」「1」「2」……「9」の数値アイコン及び「A」「B」「C」……「Z」の文字アイコンが表示される（ステップ43）。

【0077】これに対して、保険加入者は、数値アイコン及び文字アイコンを使って、保険番号データを入力する（ステップ44）。保険番号が不明のときは、氏名、住所、生年月日、電話番号等の保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータ、つまり当該保険を特定するための情報を入力する（ステップ44）。保険番号データが入力されると（ステップ44）、この保険番号データまたは上記保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータ及び再発行情報は上記通信インターフェース部23を通じて中央装置13へ送られる（ステップ46）。

【0078】このような保険番号が不明の時の当該保険を特定するための情報の入力、上記ステップ28、29、30でも実行されてもよく、このような情報に基づいても同様に保険の継続または変更が可能である。

【0079】中央装置13から該当する保険番号データがある旨の情報つまり再発行可能情報、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータ、再発行情報が送られてくると（ステップ47）、保険証5の上記書込／読出エリア18を通じて保険番号データが書き込まれて記憶される（ステップ48）。

【0080】さらに、保険証5の識別エリア17に保険番号8及び保険名（保険種類）9が印刷され、保険証5の画像エリア16には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータ、再発行情報のうち、画像によって表示可能なものが印刷され、保険証5の文字エリア15には、上述の保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータ、再発行情報のうち、文字によって表示可能なものが印刷される（ステップ49）。このようにして作成された保険証5は挿入口7から排出供給される（ステップ50）。

【0081】なお、上記保険内容の変更手続は、保険契約期間の満了時前の期間途中に行うこともできる。上記保険の継続手続は、通常、保険契約期間満了の時であるが、やはり保険契約期間の満了時前の期間途中に行うこともできる。

【0082】9. 中央装置13の保険情報処理

図13は中央装置13のコントローラ30によって実行される保険情報処理のフローチャートを示す。電源投入または保険サービスの選択などによってこの処理は開始される。まず上記ステップ08の処理によって、上記端末機12から、新規契約情報、保険内容に関するデータ及び保険加入者自身に関するデータが送られ、上記通信インターフェース部33で受信されると（ステップ60）、この送られてくる保険加入者自身に関するデータ、保険内容を示すデータ、保険対象を示すデータに基づいて、プログラム／データ記憶部31の記憶データの中から、帰属する保険グループが判別される（ステップ61）。

【0083】そして、すでに使用される保険番号と重複しないように新たな保険者番号データが作成されて、プログラム／データ記憶部31に記憶されている計算式に基づいて新規保険料が計算され（ステップ62）、上記通信インターフェース部33を通じて上記端末機12に送られる（ステップ63）。さらに、この新たな保険番号データとともに、保険内容に関するデータ、保険加入者自身に関するデータ及び保険料データが対応付けられてプログラム／データ記憶部31に書き込まれ記憶される（ステップ64）。

【0084】また、上記ステップ26の処理によって、上記端末機12から、保険継続更新情報または保険変更

情報及び保険番号データが送られ、上記通信インターフェース部33で受信されると（ステップ70）、この送られてくる保険番号データと同じ保険番号データが、中央装置13のプログラム／データ記憶部31から検索される（ステップ71）。

【0085】検索されれば（ステップ72）、該当する保険番号データがある旨の情報または保険を継続してもよい旨の情報が、上記通信インターフェース部33を通じて上記端末機12に送られる（ステップ73）。さらに、この保険継続更新情報または保険変更情報が、対応する保険内容に関するデータ及び保険加入者自身に関するデータに追加訂正されて、プログラム／データ記憶部31に書き込まれ記憶される（ステップ74）。

【0086】検索されなければエラー情報が端末機に送られてエラーメッセージが表示される（ステップ76、75）。また、検索されても、対応する保険番号データから、保険料の不払いなどの不都合情報が読み出されれば（ステップ76）、この不都合情報は上記通信インターフェース部33を通じて上記端末機12に送られる（ステップ77）。

【0087】さらに、上記ステップ31の処理によって、上記端末機12から、継続または変更された保険加入者自身に関するデータ及び保険内容示すデータ、つまり保険継続更新情報または保険変更情報が送られ、上記通信インターフェース部33で受信されると（ステップ78）、プログラム／データ記憶部31に記憶されている計算式に基づいて継続保険料が計算され（ステップ79）、上記通信インターフェース部33を通じて上記端末機12に送られる（ステップ80）。さらに、この継続保険料データも、プログラム／データ記憶部31に書き込まれ記憶される（ステップ81）。

【0088】また、上記ステップ46の処理によって、上記端末機12から、保険証5の再発行情報、保険番号データ、保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータが送られ、上記通信インターフェース部33で受信されると（ステップ85）、この送られてくる保険番号データと同じ保険番号データが、中央装置13のプログラム／データ記憶部31から検索される（ステップ86）。

【0089】保険番号が不明で、保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータが受信された場合には（ステップ85）、これらのデータに該当する保険番号データが、中央装置13のプログラム／データ記憶部31から検索される（ステップ86）。

【0090】検索されれば（ステップ87）、該当する保険番号データ、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータが、上記通信インターフェース部33を通じて上記端末機12に送られる（ステップ88）。さらに、この保険の再発行情報が、対応する保険内容に関するデータ及び保険加入者自身に関するデータ

に追加訂正されて、プログラム／データ記憶部31に書き込まれ記憶される(ステップ89)。上記ステップ87で、検索されなければエラー情報が端末機に送られてエラーメッセージが表示される(ステップ90)。

【0091】また、保険対象である、事故、疾病、死亡、盗難、破損などの発生時に、保険料を支払うことになれば、保険機関の確認・チェックが済んだ後、保険料支払い証明書が保険加入者に送られてくる。このような保険料支払い証明書を上記端末機12の挿入口7または情報読み取り装置3にセットすると、所定のデータ、支払い証明番号データ、支払い金額データ、保険番号データ、保険加入者自身に関するデータまたは保険内容を示すデータが読み取られる。

【0092】これらのデータは、キーボード1またはデジタルカメラ2から入力することもできる。この保険料支払い証明書は、警察署、消防署、病院、県庁、車両修理工場、市役所、町村役場、その他の機関が発行した証明書でも代用できる。

【0093】この読み取られた各データは上記中央装置13へ送られてプログラム／データ記憶部31内の記憶データと照合され、保険料支払い可能情報が端末機12へ送られる。端末機12では、送られてきた保険料支払い可能情報に基づいて、保険料が支払われる。この支払いは、現金支払い、口座振り込み、電子マネーカードへの入金処理などである。現金支払いでは、上記現金供給口より現金が支払われる。口座振り込みでは、キャッシュカードの挿入口7へのセットが求められる。

【0094】本発明は上記実施例に限定されず、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変更可能である。例えば、上記端末機12は上記各所に設置されるもののほか、携帯電話及びデジタルカメラを備えたモバイルであってもよい。このモバイルは各個人が有していてもよいし、上記各所に設置されて保険加入者に貸し出されたりして、当該モバイルによつて保険の加入契約、継続更新、再発行などが可能となる。この場合、新たな保険証5は上記中央装置13で発行され別途郵送される。

【0095】上記端末機12での上記各種データの inputs は、保険加入者によって直接入力されたり、オペレータまたは保険外交員によって代理して入力されてもよい。上記モバイルは上記保険外交員が所有していてもよい。

【0096】[A] 端末機では、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータの inputs を受け付けて、当該データを記憶させ、この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータを中央装置に送らせ、中央装置では、記憶された多数の保険番号に基づいて、上記端末機から送られてくる保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータに応じた保険番号を作成させ、この作成された保険番号を上記端末機に送らせ、上記端末機では、さらに、この送られてきた保険番号、上記保険加入者自身に関するデータ及び

保険内容を示すデータとを記録した保険媒体を出力させることを少なくともコンピュータに実行させる保険情報処理のためのコンピュータプログラムを記憶した媒体／当該コンピュータプログラムの通信方法(通信装置)。

【0097】[B] 端末機では、保険番号の inputs を受け付けて、当該保険番号を記憶させ、この保険番号を中央装置に送らせ、中央装置では、記憶された多数の保険加入者の保険番号に、上記端末機から送られてくる保険番号が記憶されているか否かを判別させ、この判別結果を上記端末機に送らせ、上記端末機では、さらに、この送られてきた判別結果に基づいて、当該端末機に装着された保険媒体に対して、保険の継続の情報を出力させることを少なくともコンピュータに実行させる保険情報処理のためのコンピュータプログラムを記憶した媒体／当該コンピュータプログラムの通信方法(通信装置)。

【0098】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明によれば、

端末機では、保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータの inputs を受け付けて、当該データを記憶し、この保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータを中央装置に送り、中央装置では、記憶された多数の保険番号に基づいて、上記端末機から送られてくる保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータに応じた保険番号を作成し、この作成された保険番号を上記端末機に送り、上記端末機では、さらに、この送られてきた保険番号、上記保険加入者自身に関するデータ及び保険内容を示すデータとを記録した保険媒体を出力する。したがって、保険の端末機を各所に設置すれば、簡単かつ気軽に保険に加入できる等の効果を奏する。

【0099】また、本発明によれば、端末機では、保険番号の inputs を受け付けて、当該保険番号を記憶し、この保険番号を中央装置に送り、中央装置では、記憶された多数の保険加入者の保険番号に、上記端末機から送られてくる保険番号が記憶されているか否かを判別し、この判別結果を上記端末機に送り、上記端末機では、さらに、この送られてきた判別結果に基づいて、当該端末機に装着された保険媒体に対して、保険の継続の情報を出力する。したがって、保険の端末機を各所に設置すれば、簡単かつ気軽に加入している保険を継続できる等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】保険情報処理装置11の端末機12の外観を示す。

【図2】保険証5を示す。

【図3】保険情報処理装置11の端末機12の全体回路を示す。

【図4】保険情報処理装置11の中央装置13の全体回路を示す。

21

【図5】中央装置13のプログラム/データ記憶部31に記憶される保険情報を示す。

【図6】端末機12の保険情報処理の中の新規契約処理のフローチャートを示す。

【図7】端末機12の表示画面6に表示される初期画面を示す。

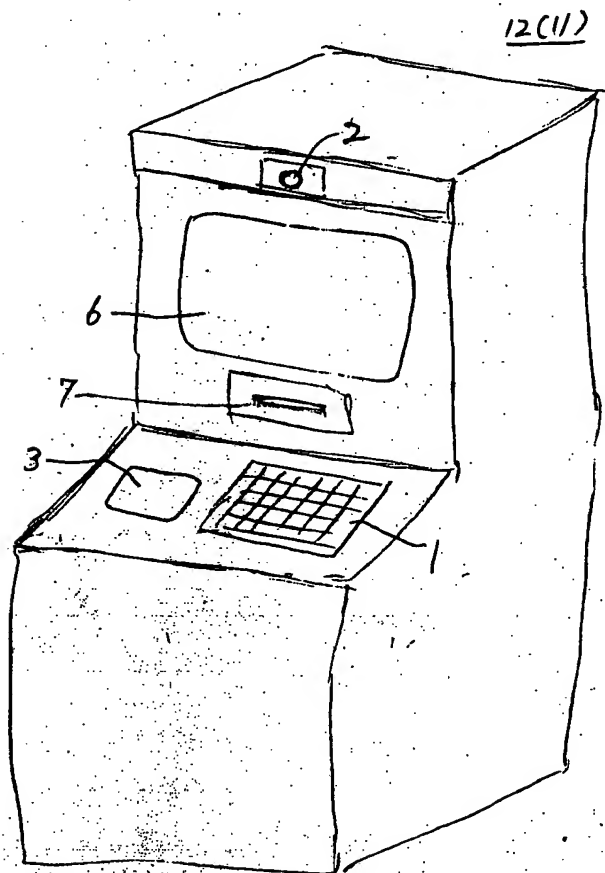
【図8】端末機12の表示画面6に表示される保険内容入力画面を示す。

【図9】端末機12の表示画面6に表示される入力される保険内容を示すデータの中の保険金額についての入力画面の例を示す。

【図10】端末機12の保険情報処理の中の契約保険の継続更新処理または契約保険内容の変更処理のフローチャートを示す。

【図11】端末機12の表示画面6に表示される保険継続/変更画面を示す。

【図1】



22

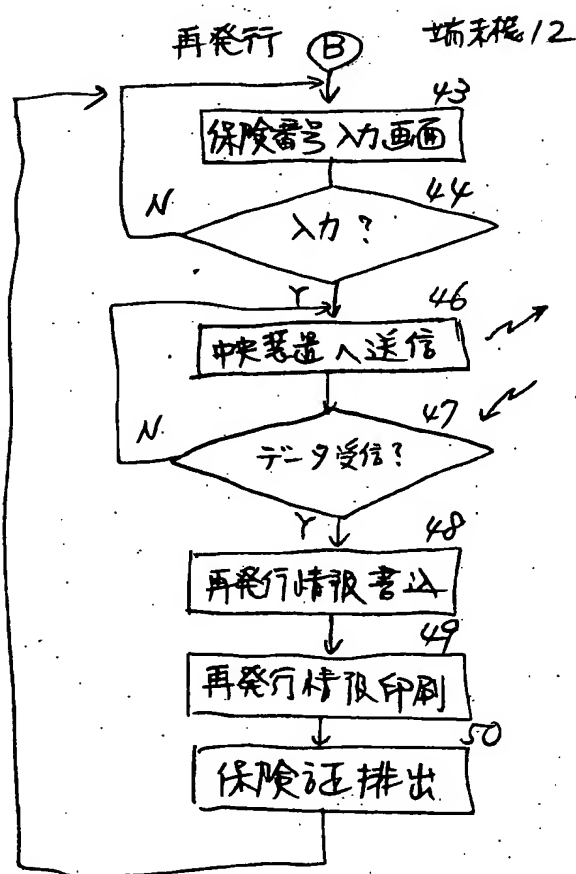
【図12】端末機12の保険情報処理の中の保険証5の再発行処理のフローチャートを示す。

【図13】中央装置13の保険情報処理のフローチャートを示す。

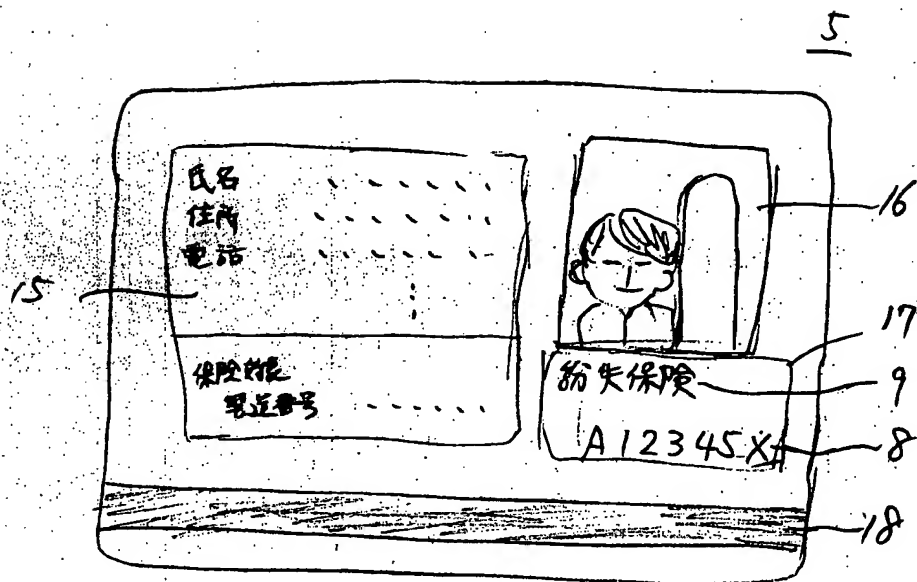
【符号の説明】

1…キーボード、2…デジタルカメラ、3…情報読み取り装置、5…保険証、6…表示画面、7…挿入口、8…保険番号、9…保険名（保険種類）、11…保険情報処理装置、12…端末機、13…中央装置、15…文字エリア、16…画像エリア、17…識別エリア、18…書込/読出エリア、20、30…コントローラ（CPU）、21、31…プログラム/データ記憶部、23、33…通信インターフェース部、24、34…タイミング発生部、25、35…入力部、26、36…出力部、27、37…情報記憶部。

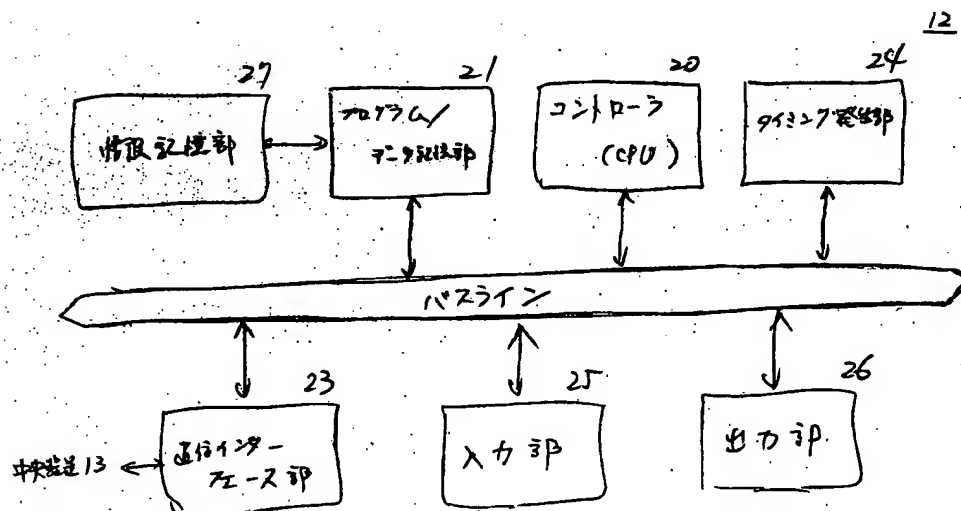
【図12】



【図2】

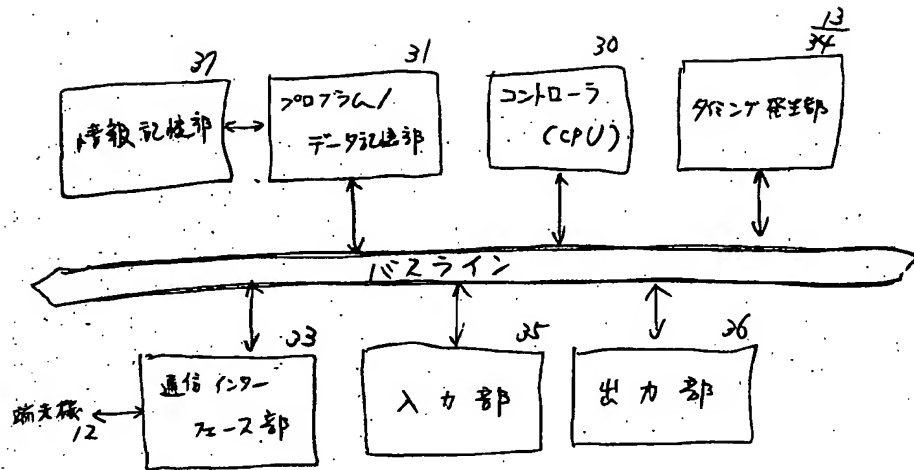


【図3】





【図4】

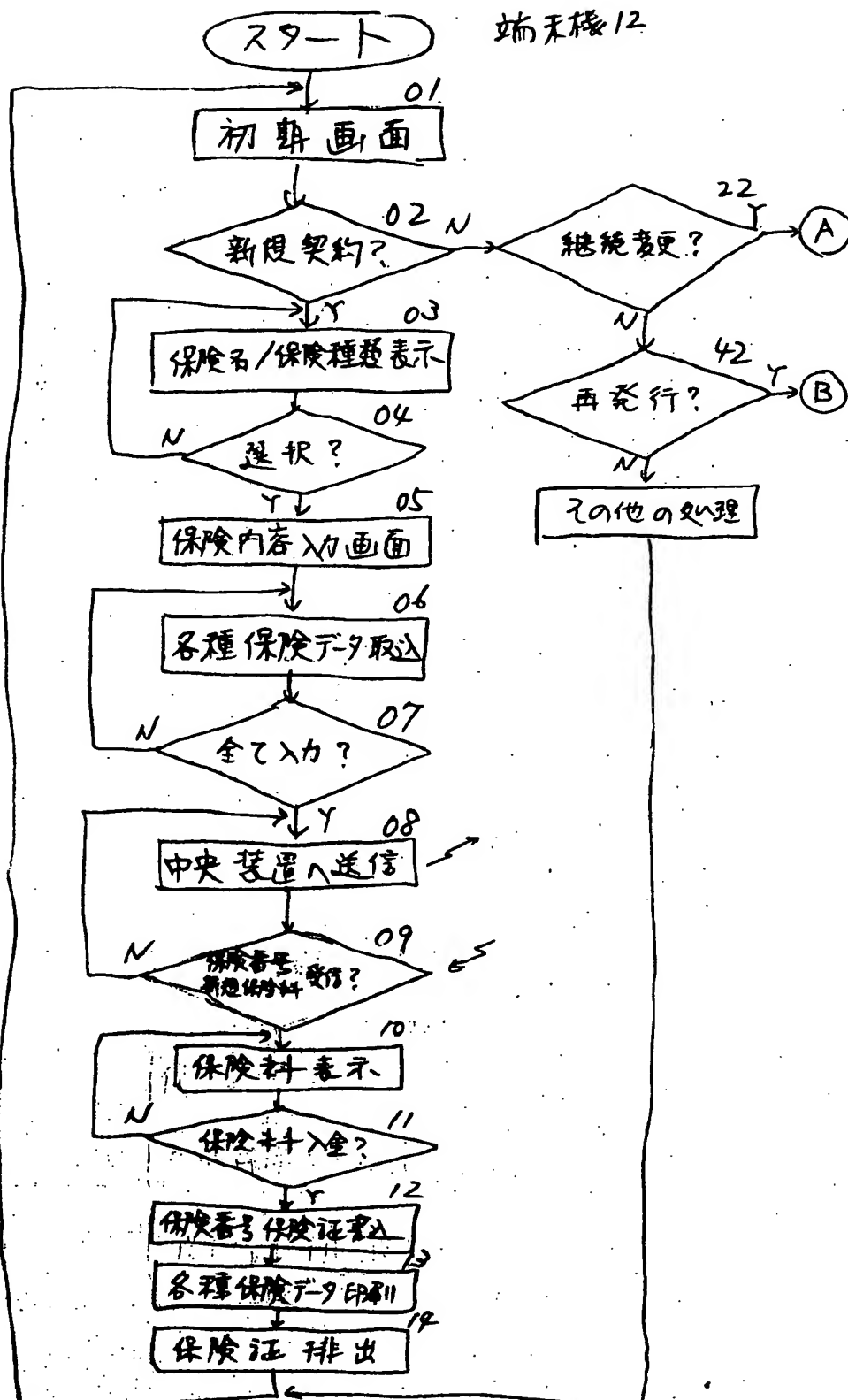


【図5】

3/

保険番号	保険者に属するデータ	保険内容データ (保険対象データ)	保険/額	再発	不都合
A 00001A					
A 00002A					
...	...	...	...	...	...
B 0135X					
...					

【図6】



【図7】

6

新 規 契 約

継 続 契 約 / 契 約 変 更

保 険 証 再 発 行

取 消

戻 り

【図8】

6

保 険 金 額

保 険 期 間

保 険 対 象

取 消

読 取

戻 り

【図9】

6

姓人	1 億 円
対 物	1,000 万 円
自 損	500 万 円

...

0	1	2	...	9	億	千	百	万	円
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---

取消      訂 正      戻 3

【図11】

6

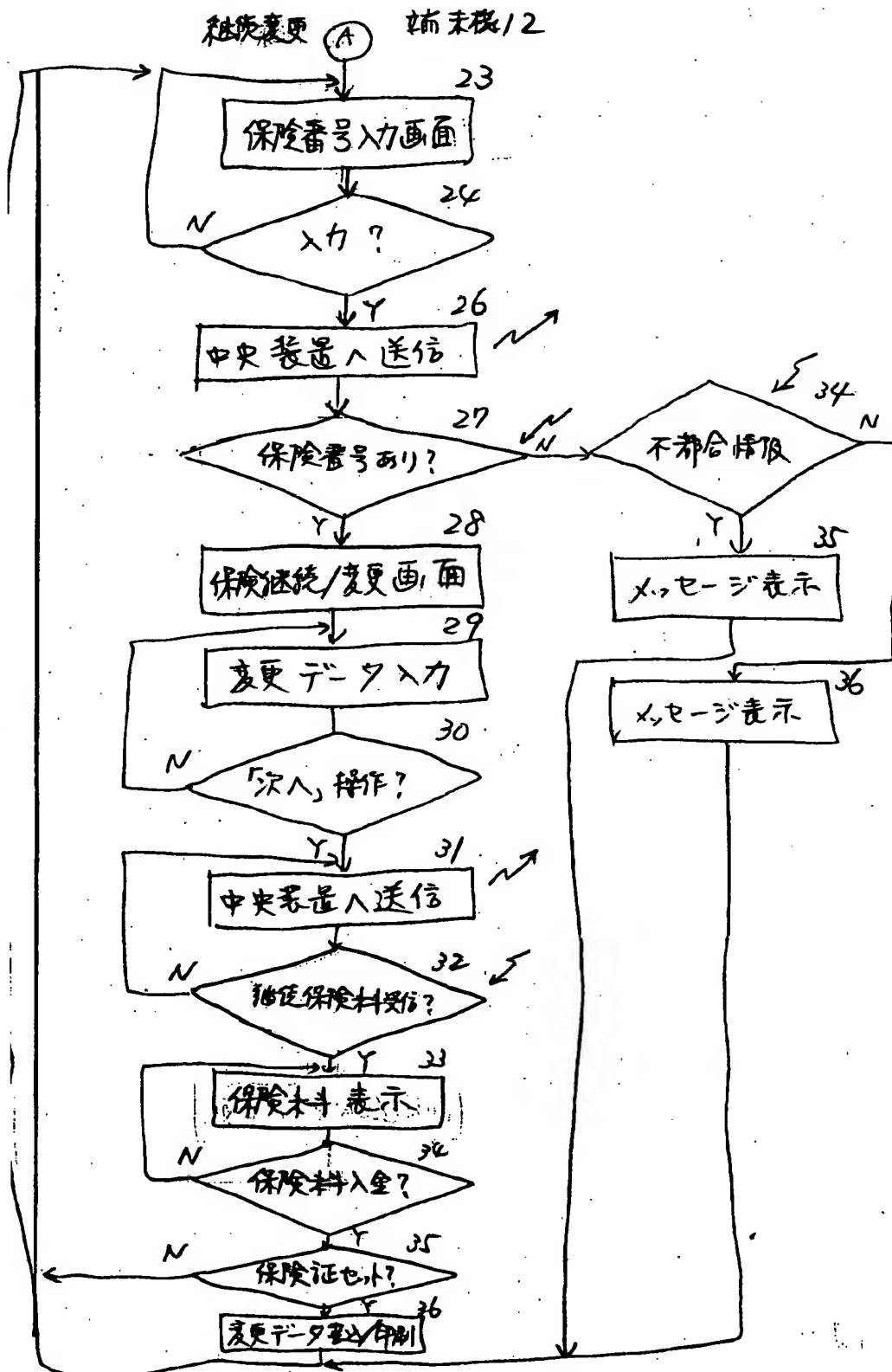
変更

保 険 金 額
保 険 期 間
保 険 対 象

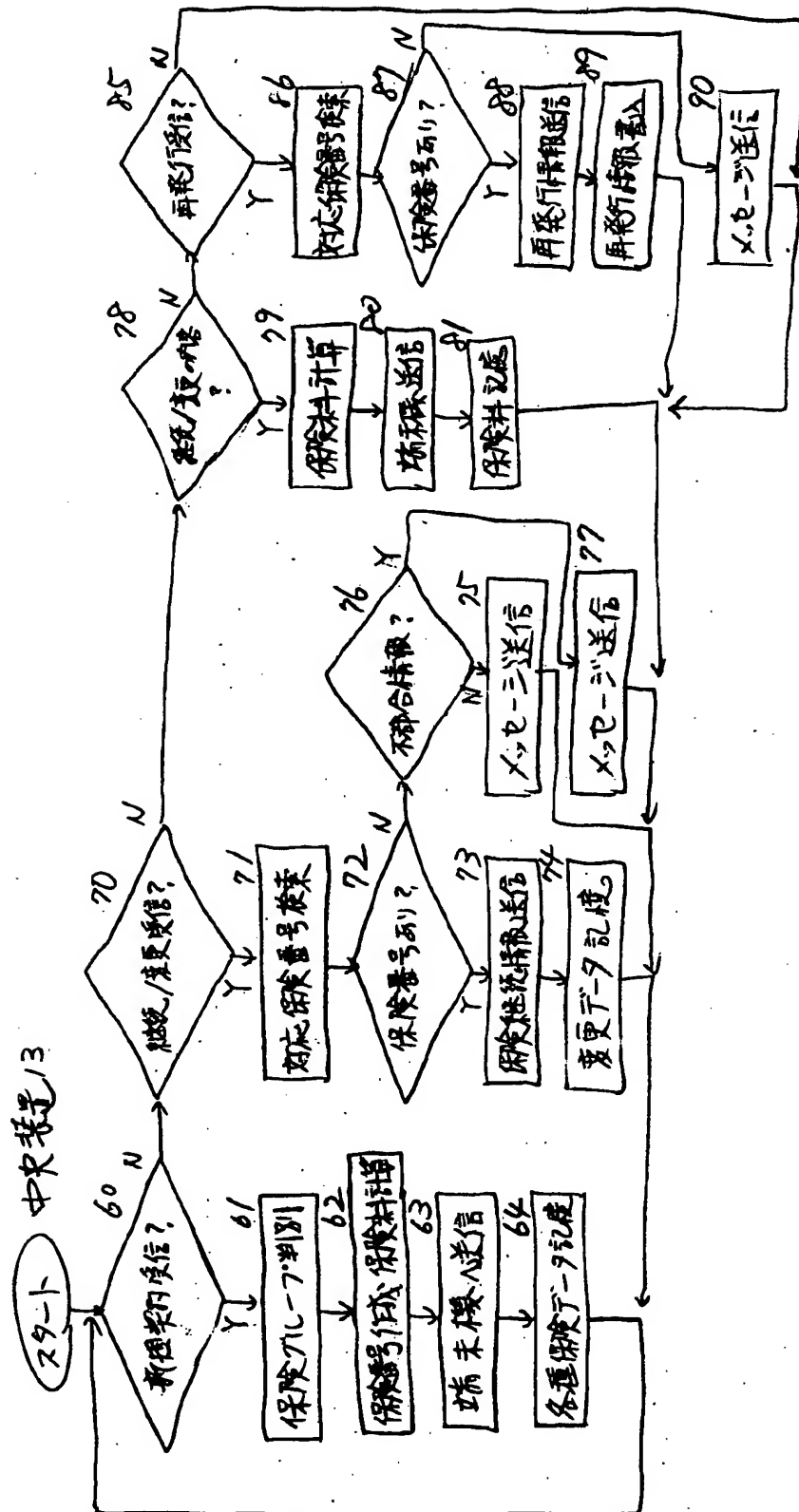
...

取消      次 入      戻 3

【図10】



【図13】





## 【手続補正書】

【提出日】平成11年4月19日(1999.4.19)

## 【手続補正1】

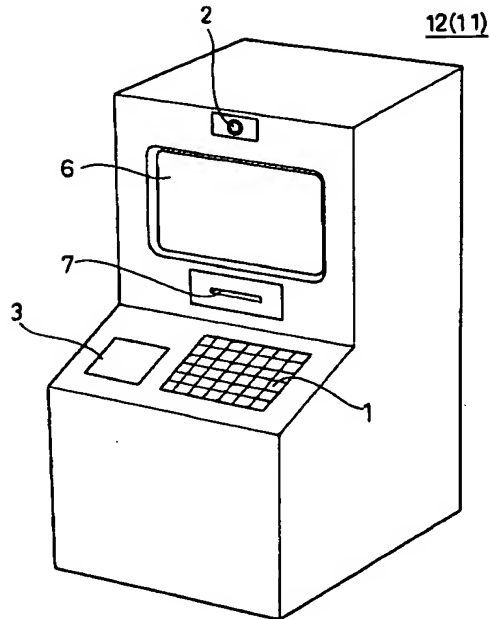
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



## \* 【手続補正2】

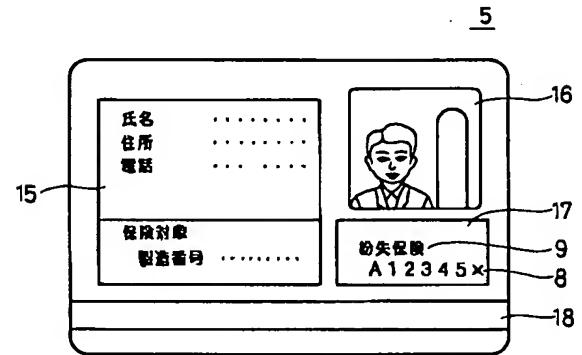
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正内容】

【図2】



## 【手続補正3】

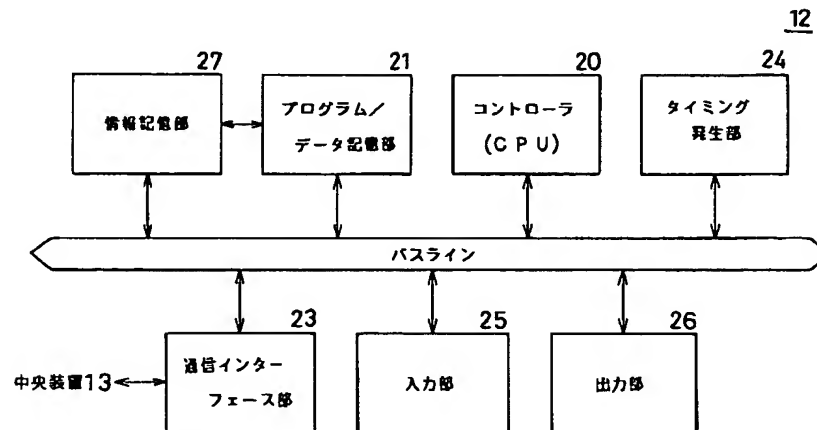
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正内容】

【図3】



## 【手続補正4】

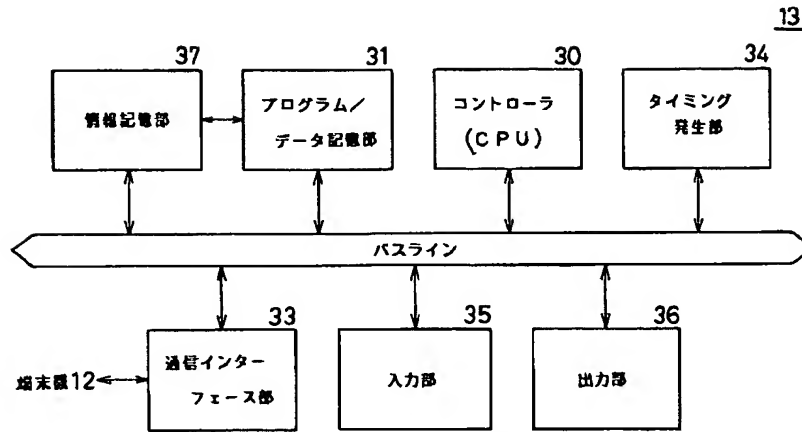
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正内容】

【図4】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

\* 【補正方法】変更

【補正内容】

\* 【図 5】

31

保険番号	保険者に関するデータ	保険内容データ (保険内容データ)	継続/変更	再発行	不都合
A00001A A00002A					
	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
B0135X					

【手続補正 6】

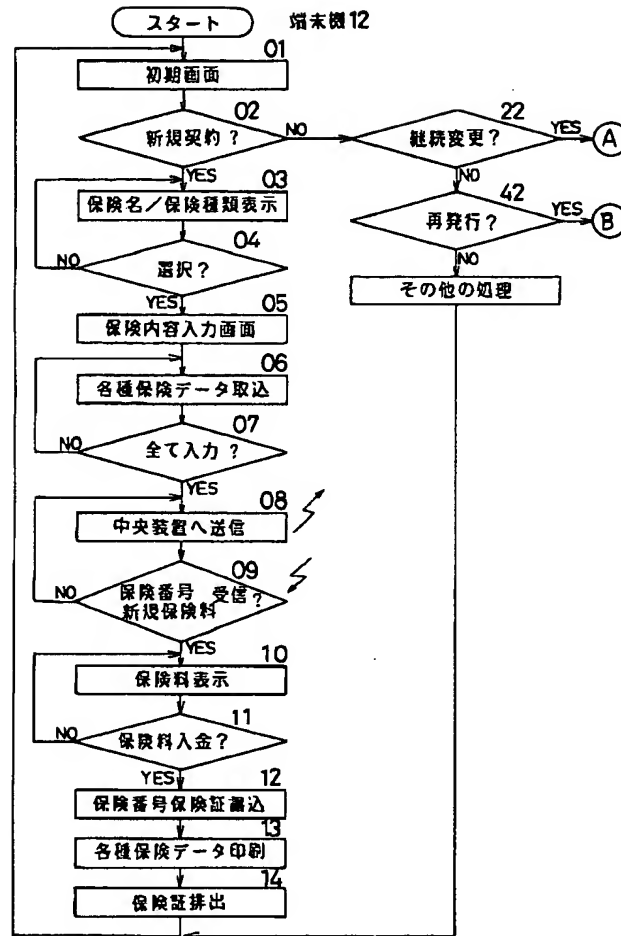
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正内容】

【図 6】



【手続補正7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正内容】

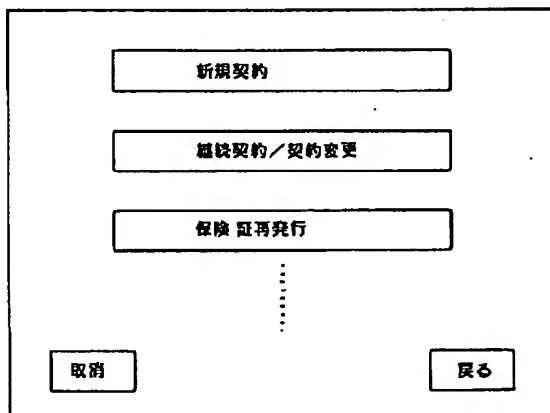
【図7】

【補正方法】変更

【補正内容】

【図8】

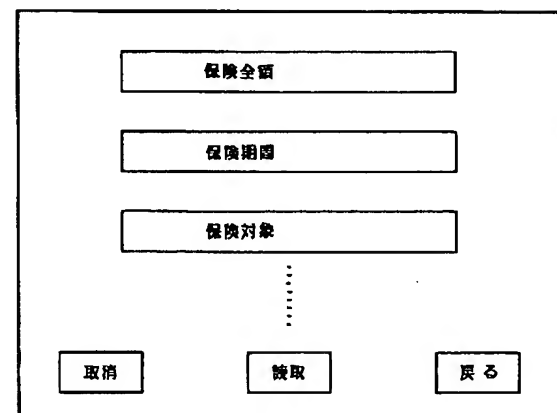
6



【手続補正8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8



【手続補正9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正内容】

【図9】

6

対人	1億円
対物	1000万円
自損	500万円
012 9億千万百万円	
取消	訂正
戻る	

【手続補正10】

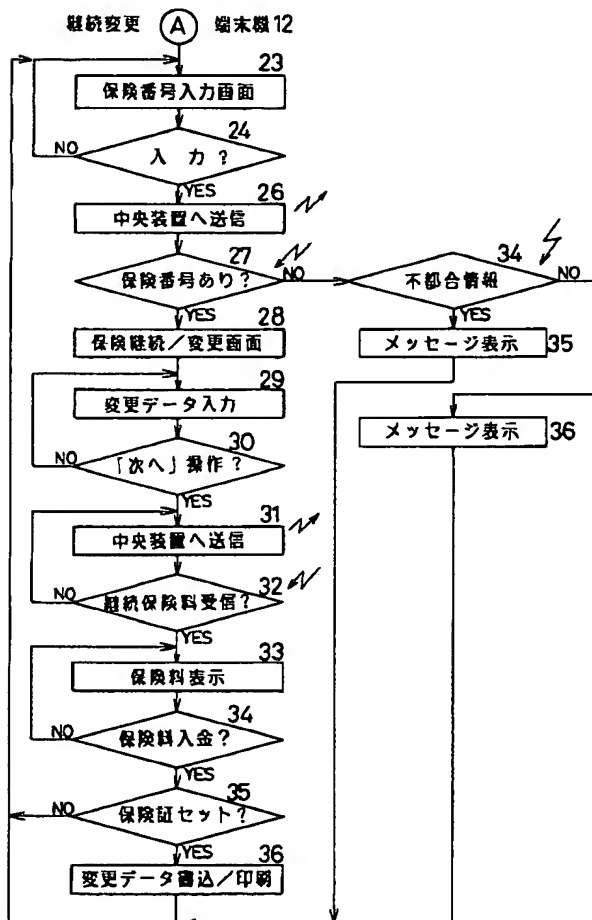
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正内容】

【図10】



【手続補正11】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正内容】

【図11】

6

変更

保険金額		
保険期間		
保険対象		
...		
取消	次へ	戻る

【手続補正12】

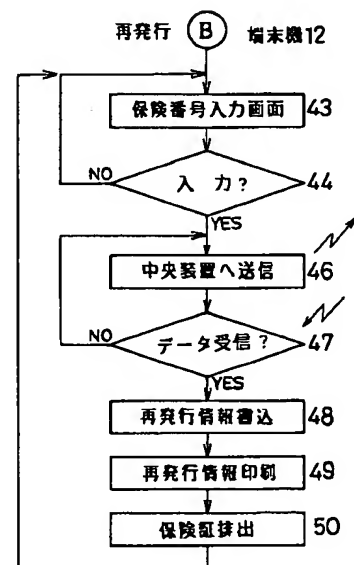
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図12

【補正方法】変更

【補正内容】

【図12】



【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正内容】

【図13】

